

チャンスをつかむために

奥州市立常盤小学校

四年

初貝

星来

今にもおそってきそうなライオン。そんな中、大きなサーカスのふたいで、どうどうと立っている男の子。どうして子どもがライオンつかいになったの。たのだろうと心にとまり、読みはじめたのがこの「ライオンつかいのフレディ」という本でした。

主人公の名前はフレディ。わたしと同じ十

歳の男の子です。フレディは、家族を助けるために自分が働きに出ようとします。なぜ子どもが仕事に行くのだろうと不思議に思ってお母さんに聞いてみると、  
「世界中には、まずしくて学校に行けず、働いている子どもがたくさんいるんだよ。」  
と教えてくれました。私の今の生活は、どんなにめぐまれているのだろうと思いました。  
フレディは、夏休みの間サーカスで働くことになりました。わたしは、働くことだけで

も大変なのに、家族とはなれてくらすフレディはなんてえらいんだろうと思いました。きくと家族とはなれてくらし、仕事をすることには心細か。たでしよう。一人きりでさびしかたでしよう。でも、フレディは家族のため。目の前の仕事に一生けんめい取り組みました。すると、その力がみとめられて、様々な仕事に挑戦させてもらえるようになります。フレディのように、見えないことでもコツコツと仕事をすること、いつか自分に返ってくるのかなと思いました。

私は、小学校三年生からことを習っていきます。最初は、つめをつけてげんをはじくこともむずかしくてできません。指も痛くなるし、速い曲では指が追いつきません。「みんなできるのに、私だけできないよ。」と話す私に、お母さんは根気強く、ていねいに教えてくれました。それから私は、毎日、毎日、練習をしました。するとお母さんが、「最初のころはできなかつたけれど、指づか

いが上手になっ たね。

とほめてくれました。この先生も、

「上手にひけるようになったね。きっとたく

さん練習をしたのね。」

と練習の後に声をかけてくれました。この

先生は、私が家で練習していたことを見てく

れていたのかなとうれしくなりました。

私の将来の夢は、英語の先生になることで

す。そして、今、がんばっていることのこと

を外国の方にも知ってもらいたいと思っ てい

ます。この楽しさを伝えるためにも、今私

にできることから、取り組んでいきたいです。

私のまわりには、きつとチャンスがたくさ

んころが、っています。それを生かすためには、

目の前にある一つ一つのことにし、かり取り

組み、それを積み重ねていくことだと思いま

す。ゴミ拾いだ、て、食器洗いだ、て、チャ

ンスになるとフシデ、は教えてくれました。

どれもが私を成長させてくれることだと信じ

て、チャレンジしていきたいです。